2025 年度 事業報告書

学校法人 白頭学院
建国高等学校・中学校・小学校
認定こども園 建国幼稚園

１．本校の教育方針

「韓日、アジア、世界で活躍する子どもたちの学校をめざして」一人一人の可能性を育み、自由闊達な探究と本校ならではの韓国語をはじめとした多言語教育の推進に一層努め、韓日、アジア、世界の懸け橋となる子どもたちの学びを深めていきます。日本における韓国文化拠点としての一翼を担い、在日韓国人社会の次世代育成はもちろん、すべての子どもたちのアイデンティティーを大切にしつつ、豊かな学力と進路指導の充実、そして多文化共生社会を牽引する学校教育をめざします。

２．本校の教育目標

韓日友好を基本に、「自主、相愛、勤倹、精詳、剛健」を校訓に掲げ、互いを理解し、懸命に学び、探究心をもって様々な問題に立ち向かい、主体的に生きる力を伸長させることのできる学校を目指します。韓国語、日本語、英語などのことばの学びを通し、コミュニケーション力を高め、高い目的意識をもって、社会に貢献する人材となることを期待します。

３．学校沿革

1946 年 建国高等学校、建国高等女学校 創立
1947 年 建国中学校に改称
1948 年 建国高等学校設立
1949 年 建国小学校設立
文部省より財団法人白頭学院 認可
学校教育法第 1 条に依る学校として認可される。
1951 年 財団法人から学校法人へ組織変更する。
1985 年 日本私立学校連合会 加盟
1986 年 創立 40 周年 記念式典挙行
1996 年 創立 50 周年 記念式典挙行
1997 年 幼稚園 学校法人の認可を受け、日本学校教育法第 1 条に依る法的資格を得る。
2006 年 創立 60 周年 記念式典挙行
2013 年 新校舎建設開始 幼稚園 新制度（施設給付型幼稚園）に移行
2015 年 新校舎竣工
2016 年 創立 70 周年 記念式典挙行
2019 年 幼稚園が認定こども園に移行認可を受ける。
2023 年 新教育棟竣工

2025 年　人工芝生敷設竣工(運動場)

4．在校生、卒業生(単位：人)

	在校生	卒業生累計
幼稚園	50	726
小学校	130	2,358
中学校	58	4,301
高等学校	168	5,171
合計	406	12,556

5．教員数

	人数
校長	1
顧問	1
教頭	4
教師（男）	19
教師（女）	29
講師（男）	4
講師（女）	10
合計	68

6．施設・設備の増築改築などについて

新校舎竣工（2015 年度）
体育館空調設備(冷暖房)完工(2017 年度)
新教育棟竣工(2023 年度)
運動場人工芝生増設(2025 年度)

7．教務関係について

2021 年 11 月　白川重雄理事長就任
2021 年　3 月　李鐘建 園長及び校長退任
2022 年　4 月　金秀子 建国幼稚園園長就任
黄裕錫 建国小・中・高等学校校長就任
2023 年　4 月　金秀子 建国幼・小・中・高等学校校長就任
大坪真哉 建国中・高等学校副校長就任
黄裕錫 建国小・中・高等学校副校長就任
松崎隆行 建国中・高等学校教頭就任

李福子 建国小学校教頭就任
康龍江 認定こども園建国幼稚園副園長就任
2024 年　4 月　大坪真哉 建国幼・小・中・高等学校顧問就任
金秀子 建国中・高等学校校長就任
黄裕錫 認定こども園建国幼稚園園長・建国小学校校長就任
2024 年 11 月　河相吉理事長就任
2025 年　4 月　金秀子 認定こども園建国幼稚園園長就任

8．財務の概要

2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別途記載

(収入について)

1　高校は生徒数が 130 名から 152 名と増加に転じた。昨年比で納付金は 538 万円、補助金は 2,097 万円増えている。なお、国からの「就学支援金」は納付金の授業料収入に計算されており、大阪府の「授業料支援補助金」は補助金収入に計算されている。

2　中学は生徒数減少が続いており(前年比 5 名、一昨年比 40 名) 昨年比で納付金は 1,340 千円増えているが補助金は 11,652 千円の大幅減。

3　小学校は生徒数がやや減少傾向にある。昨年比で納付金 865 千円減、補助金は 18,162 千円増となっている。

4　幼稚園収入のほとんどは補助金収入による。前年度比で園児が少なかった分、12,878 千円減となっている。

5　寄付金収入

寄付金のうち韓国政府からの補助金(243,686 千円)の占める割合が大きいが、昨年比で 43,077 千円の減となっている。その要因は人件費、運営費の減、そして特異所要が今年度は支給額無しであったことが大幅な減少の原因となった。なお補助金はドル建てで支給されるので為替によって変動する。

6　借入金等収入＞長期借入金収入

人工芝敷設工事費用として私学事業財団より 10 年返済で 55,000 千円の融資を受けた。

(支出について)

7　人件費支出

2025 年度の人件費は前年比で 41,633 千円減と大きな差があるが、前年度は定年退職者が例年より多かったために、2025 年度との退職金支出差額 29,438 千円が大きく影響している。

8　教育研究費支出＞報酬委託手数料

教育研究費支出全体では 5,775 千円ほどの増加。特に報酬委託手数料が 13,543 千円増えており、その主な要因は高校授業料改定とリンクをしている放課後学習支援の委託費用(12,555 千円）となる。

9　管理経費支出>報酬委託手数料

管理経費は全体で 9,136 千円の増加。特に報酬委託手数料は 7,637 千円増となっており、これは第三者委員会の費用(3,200 千円)、教員紹介料(3,000 千円) などが影響している。なお、第三者委員会は現在も継続しているが、それらの報酬は今年度中に保険料で支払われる予定となっている。

10　施設関係支出

人工芝敷設工事及びそのために遊具の移設と一部新設、韓国政府の補助金が支出されたキュービクル及び教室壁移設工事などあわせて、91,068 千円の支出となった。韓国政府の補助は工事費の 7 割となる。

11　設備関係支出>教育研究用機器備品支出

前年度の韓国の特異需要の補助金を得て、中高教室の黒板からホワイトボードの交換工事及びプロジェクターを設置した(17,407 千円)。

12　現金預金

131,268,390 円(長期借入金を除けば 76,268 千円となる)。

前年の 234,352,193 円と大きな差があるが、これは韓国政府の補助金が前受金として 118,252,002 円が入っていたことによる。2025 年度の長期借入金を差引して比較をすると現金で 40,000 千円減っていることになる。これらは施設関連では人工芝生敷設工事・遊具移動費用のうち長期借入金を除いた支払い分、キュービクル設置・教室壁移設工事のうち韓国政府の補助金を除いた 30%分の支払額の合計が 30,500 千円、また設備関連ではホワイトボード・プロジェクターの自費支払額が 5,222 千円になる。

設備投資にかけた費用(35,722 千円) が現預金の減った要因となっている。

(参考)

2025 年度　131,268,390 円－55,000,000 円(長期借入金) ＝76,268,390 千円

2024 年度　234,352,193 円－118,252,002 円(韓国政府前受) ＝116,100,191 円

事業活動収支計算書より

13　徴収不能引当金について

2,716,076 千円

既に卒業済み、転出済みで、未収入金の回収も滞っているために徴収不能引当金として処理をする。